市政に問う！

8人が登壇 いっぽん質問

太鼓踊り

県指定に要請は

教育長／情報提供を継続する

深町　幸子　議員

深町　川辺地域の竹屋神社方祭に奉納されている、上山田・下山田・中山田の太鼓踊りは「出陣」「帰陣」「凱旋」と3種類に分かれ一連の踊りとなっている。

　地域活性化と文化財継承のために、一連の踊りを県指定文化財に要請する考えはないか。

教育長　県の担当者や県文化財保護審議会委員の方々を通じて、情報提供を継続していきたい。

国民読書年の取り組みは

教育長／子ども読書活動推進計画の実践を図る

深町　平成20年に「国民読書年に関する決議」が採択され、本年が国民読書年と定められた。文部科学省は、学校及び図書館において読書活動推進のための行事、取り組みの更なる要請をしている。国民読書年に対する認識と対応を問う。また、新聞を活用した読書活動に取り組む考えはないか。

教育長　「南九州市子ども読書活動推進計画」に従って充実を図る。新聞活用による教育を見直し、各学校への新聞利用を呼びかける。

かつめ保育所の落成で披露された下山田太鼓踊り

河川改修

高取川改修と畑かん整備の排水路管理は

市長／全面改修を要望していく

永吉　義輝　議員

永吉　高取川の高嶺橋下流域は、大雨により耕作地が冠水や土砂流入などで被害を受けている。早急に改修するよう県に要望する考えはないか。

　また、伊瀬知集落内には防災ダム施設の堰止の

市民の声を

冠水流出した高取川

部分に土砂や流木などが堆積している。早急に県に対して除去するよう要望する考えはないか。

市長　高取川改修は、今後も県に要望していく。防災ダムは、県の治山施設機能再生対策事業があり、23年度採択に向けて努力している。

水汲み場跡の整備を

市長／調査し資料を収集する

永吉　水道が整備されていない当時の湧水を利用した水汲み場跡を整備し、現場保存や補修をする考えはないか。また、※ビオトープとして整備し、日本一住みやすい集落環境づくりを目指す考えはないか。

市長　全面的な調査はしていないが、今後、調査を行い資料収集したい。市民がホタルや水生昆虫と接する場所や環境を確保することは大切である。一方、本来の自然の生態系を残すべきでもあり、地域の方々と十分検討し、慎重に対応していく。

※ビオトープ　野生の動植物が生態系を保って生息する環境をいう。

学校給食

食材調達の基本的考え・基準は

教育長／学校給食法に基づき実施する

竹迫　毅　議員

竹迫　給食は、児童生徒の安心・安全、健康な発育のため、栄養バランスのとれた食事であるとともに、保護者の負担を考え安価に提供することも必要と思うが、食材の調達にあたっての基本的な考えや基準を問う。

教育長　学校給食法に基づき実施しているが、目的は、心身の健全な発達に資する食育の推進であり、目標は、望ましい食生活の習慣、社会性、協同の精神や生命、自然の尊重などである。

食材の選定基準は、鮮度が良く、不必要な着色料、保存料、漂白剤、発色剤などを使っていないことである。

竹迫　給食センターによっては、牛肉の価格差は2倍、また、鶏肉は川辺９００円、頴娃、知覧は５７９円であるがどう違うのか。

地産地消は均等にやるべきと思う。また、保護者の負担軽減にも努力すべきと思うがどうか。

学校給食センター所長　川辺の鶏肉は皮なしのため高いと思う。

教育長　指摘された点は、課題として考えるべきものがあり、今後、検討していきたい。

学校給食用の牛肉と生産履歴

口蹄疫

感染予防対策は

市長／対策本部を設置し対応する

塗木　弘幸　議員

塗木　宮崎県内で口蹄疫感染が続発し、鹿児島県内の農家へも多大な影響が出ているが、今回の感染拡大は初動対応の遅れが問題となっている。畜産は本市の重要な産業の一つである。市は、発生予防に努め、発生した場合の初動防疫、蔓延防止にどのように取り組む考えか。

市長　本県・本市において発生はしていないが、畜産経営などに多大な影響が出ている。迅速な対応が必要であり、市の防疫マニュアルを作成した。万が一のときは、市長を本部長とした対策本部を置き、関係機関一体となって取り組む。

公共工事の適正価格は

市長／見直しを検討する

塗木　国は、公共工事の品質に関する対策として低入札価格調査基準価格の見直しを行っている。また、県は、昨年度から最低制限価格の見直しを行っているが、本市の取り組みを問う。

　市単独事業の諸経費の積算には、県に比較し経費の60％～70％の範囲で調整されているが、見直す考えはないか。

市長　国・県の対策や近隣市町の状況を参考にしながら最低制限価格及び市単独事業の諸経費率の見直しを行う。

市内に設置された看板

蔵元　慎一　議員

蔵元　国は、地理空間情報活用推進基本計画で、地理空間情報の整備、提供、流通を促進し、「地理空間情報高度活用社会」の実現に向け取り組んでいる。南九州市でも固定資産税係において地積図データ、画像データ、路線価データの統合整備を進めているが、地理情報システムの構築には、今後、多額の予算が投じられる。行政内部における計画的事業の進行と組織間の連体制を構築する考えはないか。

市長　本年度計画している公有財産管理システム構築事業は統合型※ＧＩＳシステムの試験的運用を図るものである。今後は個人情報データなどもあるので、内容を検討し、本市としての有効利用を検討していく。ＧＩＳの総合的な利活用は、南九州市情報化計画の中でも位置付けを行いながら、相互の連携を図っていく。

※ＧＩＳ（地理情報システム）
　コンピュータ上に地図情報やさまざまな付加情報を持たせ、作成・保存・利用・管理し、地理情報を参照できるように表示・検索機能をもったシステム。

ＧＩＳ

地理空間情報の活用を

市長／市情報化計画の中で連携を図っていく

ＧＩＳを活用する職員

保育所

児童福祉対策を問う

市長／市全体で一つの保育園域として充実を図る

菊永　忠行　議員

菊永　定数に満たない園が1園でもある場合は、行政としては待機児童がいないという見解だが、実際に地域の声として兄弟で別々の園に通園したり、定数に達し入園できなかった例もある。行政としてどのような対策を講じていく考えか。

市長　園によっては定数に満たない園もあり、できるだけ理解を頂けるよう対処していく。本年度は制度が変わり保護者の方々に大変迷惑をかけている部分もあり、今後は事前に、園、保護者と協議をし、スムーズな入園、入所ができるようにしたい。また本年度の反省を踏まえ来年度については、原則として兄弟は同じ園で保育できるように取り組んでいく。今後も南九州市の保育所・幼稚園が、共存共栄していかなければならないが、保護者の方々の要望にも応えられるように努力をし、児童福祉の充実を図っていきたい。

その他の質問

・学童保育

仲良くおやつを食べる園児

平和公園

公園の用途変更と案内板の設置は

市長・教育長／用途変更は難しいが、看板などは検討する

峯苫　勝範　議員

峯苫　知覧体育館横のゲートボール場と交通公園を移設し、駐車場として整備する考えはないか。また、大型連休や観光シーズンになると、駐車場が足りず観光客など駐車に迷っているが、公園周辺の総合案内板と各駐車場に看板を設置する考えはないか。

市長　平和公園は、都市計画法に基づいた施設で、変更については難しい状況であり現状のままとしたい。

教育長　公園周辺には、12箇所の駐車場があり大規模なイベントなどにも対応できると考えるが、公園の外側にも駐車場があるため分かりにくいので、各施設へ通じる道路に案内板の設置を検討する。

平和公園桜並木の対応策は

市長／樹勢回復措置を施す

総合案内板設置が必要な平和公園駐車場

峯苫　平和公園の桜の開花が思わしくなく樹木医による調査を実施したが、その調査結果を踏まえ、どのような対応策を考えているのか。

市長　大型バス駐車場側と中央植樹帯の桜は48年が経過し古木となっている。自由広場側は23年しか経過していないので、枯枝の撤去、剪定整枝など樹勢回復措置を実施し延命を図る。

その他の質問

・戦争史跡の整備及び活用

交通安全対策

信号機・横断歩道の設置は

市長／関係機関と連携を図る

加治佐民生　議員

加治佐　信号機及び横断歩道の設置において、市と公安委員会の連携はとられているか。

市長　信号機及び横断歩道の設置や管理については、交通安全上重要なものであることから、公安委員会の許可・地区の合意が必要になる。市と公安委員会とは、直接の連携はないが、地元の南九州警察署を通して要望することとなる。

現在、市当局、警察署、交通安全協会など各種団体や地区の方々が参加し、交通安全総点検の実施、交通死亡事故診断・検討会も実施している。なお、場所によっては、南薩地域振興局や鹿児島国道事務所の職員も参加している。

また、市役所への要望などがあった場合には、南九州警察署へ連絡をとり伝えている。

その他の質問

・通学路の危険箇所対策

危ない折尾交差点

議会を傍聴してみませんか。

次の議会は9月7日開会予定

“手続き簡単”本館2階で住所・氏名などを書くだけ

〝傍聴者の声〟

知覧町　塩屋　緒方幸一郎

松山校区公民館の年間行事ということで、議会傍聴に参加しました。傍聴してみて、議員の方々が私たちの代表として、市民の健康的で安心安全な生活のために、日々活動されていることがよくわかり、大変有意義で充実した議会傍聴でありました。

知覧町　塩屋　衛藤てるよ

今回、松山校区の役員23名で傍聴いたしました。前に議場見学はあったのですが…。議員の方々の真剣なまなざしでの質問や、市役所の方々のてきぱきとした応答、緊張した中に、きりっとした姿がありました。むずかしい言葉もありましたがとても身近に感じました。これからも、私たち市民のための議会であってほしいと思います。

多くの傍聴者が訪れた６月議会